

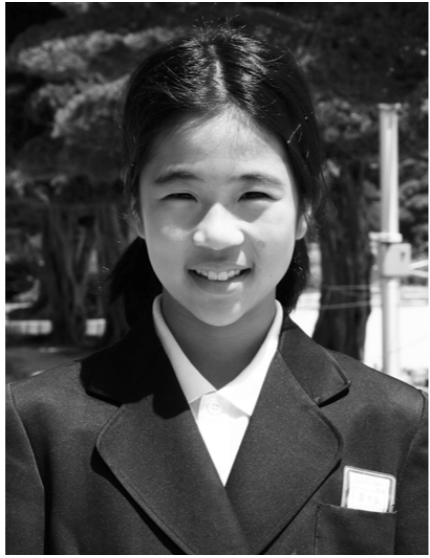
## 連絡帳

### みすゞさんの心を受けつぎたい

わたしたちの学校は、金子みすゞさんの母校です。学校では、毎月1遍、みすゞさんの詩を決めて、朝の会で読んだり、金曜日の「みすゞタイム」で読み味わったりしています。

また、長門市音楽会でも、わたしたちは、「落ち葉のカルタ」という、秋らしいかわい詩を皆で歌いました。

昨年、みすゞさんのみすゞさんの詩に曲をつけて歌っている、もりいさむさんのコンサートがありました。歌を歌うだけでなく、もりさんの昔



奈古澄香さん  
(仙崎小学校6年)



みすゞさんの詩を歌っているところ

の体験を聞いたり、詩の意味について考えたりして、とてもよい勉強になりました。

わたしは、みすゞさんの詩を読んだり、歌ったりすることで、少しでも、みすゞさんのように、だれにでも、どんなものにも、やさしく心をよせることができる人に近づけるような気がします。

これからも、「私と小鳥と鈴と」の詩の中の「みんなちがって、みんないい」という言葉を思い出しながら行動し、みすゞさんのやさしい心を受けついで行きたいと思えます。

## 連絡帳

### 県体を終えて



山根 広介さん  
(通中学校3年)

5月16日、いよいよ県体の日がやってきました。僕たちにとっては初めての大会で、誇らしさと緊張感が入り混じった気持ちでした。

相手チームは部員が60人以上もいて、会場には応援の声が鳴り響いていました。けれど、通中も地域の方々や、先生方、そして生徒たちによる大応援団のおかげで、とても心強い気持ちで試合に臨めました。

試合は、相手ペースで進みましたが、僕たちも互いに声をかけ合い、平凡なゴロでも



県体での試合のようす

一塁にヘッドスライディングをするなどして、ベンチは今までにない最高の雰囲気でした。

試合の後は、県体という場で思う存分プレーできたという充実感がありました。しかし、中には悔し涙を流す選手もいました。この涙を無駄にしないよう、次の大きな大会に向けて練習に励みたいと思います。

また、いろいろな方々に応援していただいたことへの感謝の気持ちを忘れず、今回経験したことを学校生活に生かしていきたいです。

長門の

People

### くじら大使に任命!

城みちるさん(通くじら大使)

ちょっと小耳に



「イルカにのった少年がクジラにのってやってくる!」というキャッチフレーズで5月4日に開催された、「第5回通なんでも市」に、タレントの城みちるさんが招かれ、「通くじら大使」に任命されました。かつて古式捕鯨によって栄えた通の伝統文化を全国にPRすることを目的と



しており、任期は1年です。城さんは、「私は海辺の町で育ったので、通に来たときは、故郷に帰ってきたような懐かしい気持ちになりました。これから、通の捕鯨文化をしつかり宣伝していきたいですね」と話していました。

この日はステージイベントも行われ、訪れた多くの観客の前で、ヒット曲「イルカにのった少年」などを熱唱し会場を盛り上げました。

城さんは、7月20日に同じ場所で開催される「通くじら祭り」にも出演予定です。

### 給食、たくさん食べてね!

小川 翼さん(日置学校給食センター勤務)

熱血新戦力



※仕事は 日置小・中学校の児童生徒が食べる給食の献立づくりや食材の発注、子どもたちへの給食指導、センターの衛生管理などを行っています。給食には旬の野菜を使うことや、地元の新鮮な魚を取り入れるように心がけています。

※趣味は 食べ歩きですね。今は生パスタにはまっています。あとドライブも好きですよ。

※自由に一言 日置小・日置

中の皆さん、たまには給食にキレイなものが出ると思いますが、調理員さんたちが心を込めておいしく作るので、頑張って食べてね!